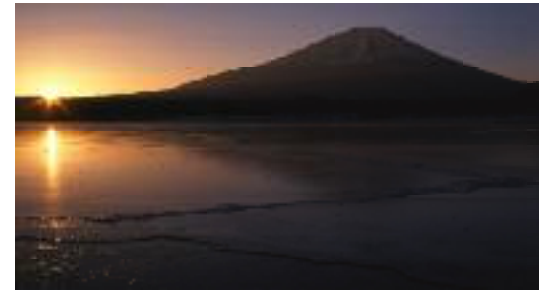


迎春

変化をチャンスに！ 2010年春闘、職場と地域を基軸に闘おう！

板橋区労連議長 広瀬 憲義



新年あけましておめでとうございます。

「仕事がない」「給料が上がらないどころか払われない」「モノが売れない」など。国民にとっては、「ないないづくし」の日本経済。深刻な不況を脱しきれず、さらなる景気後退も懸念されています。

昨年末、政府が発表した「緊急経済対策」で、経済の現状について「緩やかなデフレ状況」と円高が進んでいることをあげました。しかし、日本経済の事態を深刻にさせているのは大企業の身勝手です。「デフレ」のもとをたどれば大企業が労働者の賃金を低く抑え込んできたことに原因があります。円高の問題でも

大企業は、しわ寄せを中小企業に押し付けてきました。所得・雇用環境の悪化や先行き不安は、個人の消費を冷え込ませ、景気を悪くする要因にもなっています。政府の控えめの推計でも、年末までに23万人の失業者が新たな職につけないまま失業給付を打ち切られたといわれています。新年を

迎え、雇用の悪化は、さらに深刻になっています。いま日本では働く人が大に医療費も高くなり、「後期高齢者」じゃなくて「高齢高齢者」です。

生存権を定めた憲法25条がきちんと実行される社会になるようにしたいものです。

JMIUユニオン光学支部

会社を存続させ、職場とくらしを守る闘いにご支援を！

ユニオン光学企業存続！ 12・19「団結餅つき大会」寒風の中、90数名参加！

ユニオン光学は昨秋からの景気悪化の影響を受けて受注・売上が例年の3分の1に激減し、経営

危機に陥りました。私たちは、産別・地域の支援によるユニオン光学闘争会議を柱にして、産別同交

を開催しユニオン光学及び親会社ユニオンホールディングスの経営の責任を明確にして、賃金遅配

の解消と会社再建への協議を重ねてきました。10月からの売上は例年の3分の2程度に回復してきました。しかし、11月5日、横濱社長が証券取引

法違反（株価操作）で逮捕されたことにより、資金繰りが悪化し、経営困難な状況が続いています。賃金の欠配は4ヶ月におよび、やむを得ず退職する人も出ています。

この現状を打開する為、12月4日にJMIU北部地協での争議支援総行動

に取り組み、広瀬議長にも参加していただき激励の挨拶を受けました。

また、12月19日には「団結もちつき大会」を開催し、産別と地域から約90名の方に参加していただき、激励と物心両面での多くのご支援を受けました。ありがとうございます。

私たちはひとりでも多くの仲間を組織して団結し、「会社を存続させ、職場とくらしをまもる。」ために最後まで奮闘する決意です。今後ともご支援・ご指導をよろしく



お願ひします。

(JMIUユニオン光学支部 委員長 田中 恭啓)

ごぼうき

児童福祉施設最低基準に基づく保育所運営費が大きく削減された上、産休・病休の代替職員雇用に関わる補償条件も後退してきている。

こうしたなか、労働条件の変更提案がされ、その代替策として、病休明け復帰プログラム策定と労働安全衛生委員会の設置を求めて交渉している民間保育園の職場がある。

経営側は、労働安全衛生委員会の設置は常時50人以上の事業所とし労働衛生推進者を配置すると回答したが、そもそも、労働安全衛生法第19条で、政令に基づき、50人以上労働者を使用する事業場では、設置が義務付けるとし、また、10人以上50人未満の労働者を使用する事業場では労働衛生推進者を選任しなければならぬとしている。

労働衛生推進者すら設置していなかったわけだが、このような職場が少なくないのではないだろうか。

いま、メンタルヘルス対策がとりわけ重要になっているなか、1人の労働衛生推進者だけで対応しきれぬだろう。50人未満の事業所でも労働安全衛生委員会の設置が必要とされているし、そうした要求運動が大きく展開されなければならぬと考える。

(Y・F)

第40回城北ハイタク交流会

第4回泊まり込み学習交流会17団体24名参加で開催

11月23・24日、岡本ホテル南箱根ダイヤランドに於いて 1日目は、菅



原氏（安全自動車板橋 板橋友の会）が座長を務め、佐藤氏（グリーンキャブ労組）の司会で学習会が行われました。

今回は講師に吉田三男氏（東京都自動車交通 北都ハイタク共闘会議 事務局長）をお招きして、「特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」についてタクシー事業の適正化・活性化の推進に関する基本的な方針、地域公共交

通としての機能を十分に発揮することが困難な状況や、規制緩和から規制強化への経過やタクシー事業者及び車両数の増加、行政処分基準の改正、地域計画の目標など概要についての説明など、3時間の講義を行いました。

夜の懇親会は、野呂氏（飛鳥自動車労組）の乾杯音頭で始まり、参加者同士が和気藹々と時を過ごし、二次会は幹事部屋で各単組との情報交換で学習会の延長でした。二

日目は、奥寺氏（飛鳥自動車労組）の司会で、前日に続き吉田三男氏の講師で「タクシー運転者登録制度」の運転者登録の施行、減点・行政処分等取り消し・警告対象者違反項目及び期間・累計で受講命令に関する内訳を懇切丁寧な講演でした。

その後、本倉氏（日本交通労組池袋支部）の私服警察官などの違反客待ち駐停車滞留違反取締りや一斉検挙で、行政処分の場合は警告・違反点数及

び業務停止について説明あり、法令違反の規準の質問があり、各自が取り締まり状況を持ち帰って調査することのこと。来年度の年間行事予定確認後、閉会の挨拶を板橋区労連 広瀬議長より、「ハイタク交流会も来年の3月で7年目を迎える。参加者を増やし更なる発展を。他の産業に目を向けて他の業種と違いを超えての情報交換や交流を。一般の方にも、お客様の立場で懇談会に参加してもらっ

てはどうか」とのお話があり、今後の活動への参考になりました。2日間の学習会も無事に終り、帰路に着きました。

（帝都自動車板橋 國則 正治）



城北ハイタク交流会 第7回総会・新年会

日時 1月13日（水）午前9時30分～
場所 板橋文化会館第一・二和室
会費 一人 3,000円

ホッとコーナー

東京ぶらり旅でリラックス

東京に住んでいるといつでも行けると思っのか、東京の観光地などあまり訪ねたりしなかったが、これからは



東京の色々な場所をぶらりと歩いてみようと思ひ、まずは30数年ぶりに寅さんの故郷、柴又に行ってきた。あいにくの雨だったが柴又駅前では、寅さんの像が迎え入れてくれた。帝釈天への参道は草団子、せんべいや料亭などの店が連なり良い雰囲気、名物の草団子を食べた。参道の正面に帝釈天があらわれ、山門を見上げると色々な彫刻が見られた。帝釈天の本道は立派な彫刻でも有名なものでじっくりと見学した。

そして30年前にはなかった「寅さん記念館」を訪れた。「男はつらいよ」のほとんども観ているので、久しぶりに寅さんに会えたと

いう感じだった。くるま屋のお店のセツトは懐かしく感じたが、思ったよりも狭いと思った。また、隣には「山本亭」という大正末期から昭和の初期の建物と庭園があり、個々も見学してゆつくりと時間を過ごした。

30年前とはだいぶ違っていたが、その変化も訪れる楽しみだった。古い街並みや庭園、博物館などが好きなので、これからも谷中・佃島や六義園・浜離宮など一人であらりと散策できる場所を探して訪れ、のんびりとした時間を過ごしたいと思っている。

（都教組板橋支部 鈴木 真夫）

新しい仲間が増えました！

全国一般東京労組 まつば園分会

私たちは板橋区氷川町にある児童養護施設まつば園で働く職員で構成する労働組合です。

震災で家を手った子どもたちのために開設され、現在は様々な理由で家庭で育てられない子どもを預かり養育する生活の場として現在に至っています。しかし、創立者が亡くなりその後の同族経営が続く中で様々な問題が噴出してきました。

突然の練馬区への施設移転計画の発表と続く混乱、一部経営者による黒い霧問題、職員退職が相次ぎ子どもたちの生活の荒廃です。

このような危機的状況の中で

施設の解体が行政側から出始める中で組合を結成しました。団交やピラマキ行政交渉など地道な行動を積み重ね移転計画の白紙撤回、経営体制の刷新を勝ち取りました。

生じています。規模拡大により赤字が増え、突然の事業開設による配転などの労働条件の変更などです。また、時間外手当の未払い、24時間勤務の諸手当の切り下げ、子どもの権利侵害の問題など以前から組合では改善を要求しています。査定制度も導入されようとしています。

虐待などで傷ついた子どもへの入所が増える中、安心して長く働ける労働条件の向上と子どもたちの権利擁護の確立を目指して地域で働く仲間の皆さんと共に頑張っています。

（分会長 岩瀬 正昭）